



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第105号
令和7年4月16日



定例会毎に発行

河津町議会だより



それぞれの門出

P. 2～P. 3 予算審査特別委員会

P. 4 定例会・臨時会

P. 5 **全国初** 河津ザクライド実証実験

P. 6～P.11 町政を問う

▶一般質問（6人）

P.12 常任委員会

P.13 議会改革特別委員会・議会のうごき

P.14 一部事務組合

P.16 私の一言

▶河津町二十歳の集い代表 土屋 智嘉良

▶河津町二十歳の集い代表 小野 里桜



YouTubeで
議会映像配信中



河津町議会
WEBサイト

令和7年度 予算審査特別委員会

令和7年度の河津町の予算案を集中審議するため、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3月7日から4日間に渡り各課毎に審議を行った。
定例会において3件の付帯意見を付し原案を可決した。

委員長 桑原 猛 副委員長 大川良樹
委員 正木誠司、北島正男、渡邊昌昭、遠藤嘉規、上村和正、渡邊 弘、稲葉 静、宮崎啓次

一般会計予算
46億2000万円
前年度比：－4.8%
2億3300万円減
承認・可決！

逆川地区の中田橋・中村橋の補修工事

事業費：3008万円



橋梁長寿命化修繕計画に基づいて改修工事を実施。

*その他、当年度内に天川橋撤去工事を実施

放課後児童クラブ 小学校校舎内移転

456.5万円



体育館2階から校舎内に移転する事で、酷暑期・厳寒期でも快適に過ごせる環境を整備

高齢者お出かけ支援 タクシー実証実験 325万円

令和7年4月7日～7月4日
月・水・金曜日 8時～17時



*つなげる支援バス実証実験 (通称：つなバス)

令和7年4月1日～9月30日

*運休あり
*河津町公式 LINE に時刻表あり

予算審査特別委員会での質疑(抜粋)

●投票所の見直しによる対応

質問

投票所が遠くなり歩いて行けない人への送迎の手配は。

回答 町のバス等を使う予定。

●備品リユース

質問 昨年、小学校備品についてメルカリで販売したが、消防団の法被なども売れるのではないか。

回答 法被は町名があるため全て廃棄とした。

●防災士の再組織化

質問 今年度に再組織化の予定との事だが、何人くらいになるのか。

回答 現状で10人程度。

質問 今後、新規募集をするのか。

回答 行政連絡委員会できちんと周知していく。

●電話相談窓口

質問 救急安心電話窓口とは。

回答 救急安心電話窓口とは。

●伊豆の踊子関係

質問 伊豆の踊子関係の文化財保護の考え方は。

回答 文化財保護審議会にはかりながら対応。

●不登校支援

質問 不登校支援員はどのような方がつくのか。

回答 教職員OBで現在支援員の方を予定。

質問 保護者の相談窓口は。

回答 担任の教師が窓口。

●未就学児保育

質問 少子化による保育園の今後について検討されているか。

回答 今後人数が減っていくことは確実で、運営が成り立たなくなる事が予想される。

質問 今年度中に検討していくのか。

回答 検討を行っている。

回答 新年度から本格実施する県の事業。

●伊豆の踊子関係

質問 伊豆の踊子関係の文化財保護の考え方は。

回答 文化財保護審議会にはかりながら対応。

●不登校支援

質問 不登校支援員はどのような方がつくのか。

回答 教職員OBで現在支援員の方を予定。

質問 保護者の相談窓口は。

回答 担任の教師が窓口。

●未就学児保育

質問 少子化による保育園の今後について検討されているか。

回答 今後人数が減っていくことは確実で、運営が成り立たなくなる事が予想される。

質問 今年度中に検討していくのか。

回答 検討を行っている。

带状疱疹任意予防接種 子どものインフルエンザ ワクチン接種の補助

新規!



予防費総額：4600.5万円
インフルエンザ：43.4万円
带状疱疹：64万円

小学校内に校内教育支援 センターを設置 事業費：183万円

新規!



不登校児童・生徒の相談支援
や校内での居場所作りとして
支援センターを設置し、専門
の支援員を配置

踊子文学碑横トイレ撤去 180万円



老朽化・地区要望により解体・
撤去となるトイレ

●耐震補強

質問 わが家の耐震補強申請の状況は。

回答 能登半島地震を受けて耐震診断の件数が増加した。15軒を見込んで

いる。
質問 部屋単位等の補強について補助されるのか。

回答 補助は建物全体の補強となる。

質問 今後、部屋単位の補強への補助は。

回答 県も使いやすい形を考えているとの事であり、町としては県に準じて対応する。

●バガテル公園の運営

質問 町が望むバガテル公園の方向性を指定管理者に伝える必要があるのでは。

回答 現状の実績については報告を受けて評価は行っている。

●森林整備

質問 森林環境譲与税の積立の意味は。

回答 各地区から要望があるため、一旦積み立てて計画的に使用していく。

●踊子文学碑横のトイレ整備

質問 トイレは解体と なっているが撤去費用を 使つての改修は可能か。

回答 管理している区から改修か撤去の要望があり、地区とも検討したが、重機が入らない事や現在はほとんど使用されておらず、地区での管理も難しい事から撤去とした。

質問 湯ヶ野駐車場のトイレも撤去されており、周辺に公共トイレが一台も無い。新設は可能か。
回答 旧西小の外トイレを活用したり、新設については費用等を含め今後検討していく。

予算審査特別委員会 付帯意見

- 1, 踊子文学碑トイレの撤去により、湯ヶ野エリアに公衆トイレが無くなってしまふ。来訪者の利便性を考慮し、同エリア内の新設も含め早急に検討されたい。
- 2, 令和7年度でバガテル公園の指定管理が終了する。費用対効果等を検証し、今後の維持管理について検討されたい。
- 3, 未就学児数の推移から、官民幼児教育・保育の提供体制の維持が困難となりつつある。現状の提供体制について早急に検討されたい。

令和7年第1回 定例会（抜粋） 令和7年3月4日～6日・13日

諸般の報告、町長の施政方針及び行政報告、議員による一般質問6名に続き、人事案件12件、条例案件9件、単行議決1件、指定金融機関の指定1件、指定管理者の指定2件、規約関係1件、補正予算3件、新年度予算8件、追加議案として条例案件1件の全38議案を審議し、可決・承認・同意した。

尚、新年度予算の各課ごとの予算案は、集中審議をするため議員全員による予算審査特別委員会に付託したのち承認とした。

岸重宏町長 施政方針（抜粋）

令和7年度予算編成に際して、町民と共に「共創のまちづくり」を基本目標とし、チエンジ（変化）からサステイナブル（持続性）へ。新時代のコンパクトで魅力ある賑わいのまちづくりに取り組む。重点テーマは、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」「豊かさをみんので創るまちづくり」「未来を創る人が育つまちづくり」とし、主な施策は、治山事業、橋梁の長寿命化、木造住宅耐震補強助成、防災情報伝達システム整備、商工・観光振興事業、放課後児童クラブ使用教室の修繕、こどもインフルエンザ予防接種補助、高校生通学費補助、学習支援員や、不登校支援員の配置。

可決された議案（抜粋）

● 人事（敬称略）

- ・ 人権擁護委員
高崎美智代（湯ケ野）
- ・ 農業委員
正木 武（沢田）
正木敏弘（上峰）
渡辺寿夫（谷津）
萩原久夫（見高浜）
飯田隆一（谷津）
平川辰彦（筏場）
稲葉二郎（梨本）
村木貞一（下峰）
土屋 茂（上佐ケ野）
土屋常平（見高入谷）
後藤美南子（沢田）

● 指定管理者の指定

- ・ 峰温泉大噴湯公園
下峰区



- ・ 見高地区地域振興施設
舟戸の番屋運営組合



● 一般会計補正予算

令和6年度補正予算は、612万7千円を減額し、51億8,229万6千円とした。
主な補正内容

- 減額（事業費確定による）
- ・ 保健福祉防災センター 改修工事
- ・ 子育て支援センター 駐車場整備工事
- ・ 花卉園駐車場整備工事
- 増額
- ・ 物価高騰対策生活支援
- ・ 河津桜まつり運営補助（期間延長につき）
- ・ 下田地区消防組合負担金
- ・ 幼稚園・小中学校給食費負担金（食材高騰）
- 繰り越し分
- ・ 低所得世帯給付

● 令和7年度予算

一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、69億3,919万4千円となり、うち一般会計当初予算は、46億2,000万円とし、対前年マイナス2億3,300万（95、2%）とし、集中審議の後、承認した。

令和7年 第1回 臨時会

（1月20日開催）

人事院勧告に伴い職員との給与に関する法律等の一部が改正されたため、条例の対応箇所を改正する。同時に新しい給与体系を導入する。これらによる補正予算と、子育て支援センター駐車場整備工事及び、七滝駐車場公衆トイレ整備工事の変更請負契約を審議し承認した。

全国初

「河津ザクライド」実証実験

観光を主とした共助型ライドシェア

（第1常任委員会と河津町商工会観光サービス業部会）

新たな移動手段

ライドシェアによる

実証実験実施

第1常任委員会並びに河津町商工会観光サービス業部会では、静岡県地域交通課、全国自治体ライドシェア連絡協議会（全自連）にサポートをいただき、17時以降にタクシー運行がなくなる河津町において、夜間における地域産業及び地域の活性を図るため、「河津桜まつり」期間中、時間制共助型ライドシェア事業に取り組んだ。

・事業概要
河津町商工会から河津町飲食店組合・河津町温泉旅館組合に加盟する事業者並びに本事業に協力する事業者を対象に実施する。河津町の17時以降タクシー運行がなくなる事から、その改善を図る事を目的に行う。利用者は観光客に限らず、町民も含めて対象とする。



・実施期間

2月19日（水）から25日（火）の7日間

・送迎エリア

河津町内

・送迎時間

17時30分～22時30分

・予約時間

17時00分～21時45分

・運行料金

100円（1グループ、1運行）

ガソリン、レンタカー代に充当

・乗車人員

お客様6名（この他にドライバーと補助員）

アンケート（抜粋）

・河津桜まつりのリピーターが多く、毎年同じ宿飲食店を利用している。（横浜・東京在住2件）
・河津に移住したい（千葉県在住20代）
・年間を通じての運用を熱望（町民）
・夜営業の飲食店からも高評価、せめて繁忙期だけでも（町内飲食店）

次へつなぐ

第35回河津桜まつり期間中（繁忙期）に運行をし、「良くて実証実験できたな」が率直な感想、これには商工会、議員が一丸となり、様々な協力、支え合いをしながら、町の課題解決に向け取り組めたことは、非常に大き

な成果と感じている。

ボランティア協力した一人一人が楽しんでくれたこと、町内事業者が喜んでくれたことが、次へとつながる第一歩と感じた。今回は町民の皆様にも周知しながら、第2回の実証実験、実走に向けた取り組みをし、「河津版ライドシェア」を確立していきたい。

河津ザクライド実証実験 運行実績

事業協力者 10名（商工会員4、議会6）+事務局（商工会1）
※協力内容：運転手・運転補助、運行管理（事務局）

	利用組数及び人数（延べ）		利用事業所数	利用者の内訳	
	利用組数	人数		町外者	町内者
19日（水）	9	21	4	18	3
20日（木）	4	10	4	10	0
21日（金）	7	13	5	11	2
22日（土）	9	20	6	20	0
23日（日）	8	14	4	7	7
24日（月・振）	4	7	3	0	7
25日（火）	11	19	3	0	19
合計	52	104	11（実数）	66	38

町政を問う

一般質問



校内教育支援センターを設置する体育館2階



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



くわ はら たけし
桑 原 猛 議員

質問 不登校児童生徒への支援体制は

答え 校内教育支援センターを配置

質問 本町の児童生徒の不登校、児童生徒の現状と課題、支援の取り組みは。また、児童生徒や保護者の相談体制は学校や家庭以外に安心して過ごせる居場所づくりが必要と考えているのか。

町長 学期ごとに、幼稚園、小学校、中学校への学校訪問を行う際、現状を校長などから聞いており、近年急速に進行している問題であると認識を

している。新年度予算に、国・県の助成を受け、不登校支援員の設置予算の計上をした。

教育長 河津小学校体育館2階に小中学生を対象とした校内教育支援センターを設置し、支援員の配置を計画している。登校はするが教室に入りづらい児童生徒が、相談をしたり一時的に学習を進

めたりしながら教室に足が向くように支援したり、登校できない児童生徒にとつては、まず支援センターで安心して過ごしながら学校生活や学習のリズムを取り戻し、教室で過ごすことへステップアップできるよう支援する。保護者等の相談支援も行いたい。

質問 2025年度からインターネット上の仮想空間で子どもたちの学びの支援をする、静岡バーチャルスクールが始まるが、参加・推進の考えはあるのか。

教育長 静岡バーチャルスクールも一つの学びの場であると思う。長期欠席している児童生徒が、ICTを活用したオンラインでの交流、学習体験を通して、学ぶ喜びや人とのつながりを実感し、

社会的自立を目指すことを目的としての取り組みと認識している。本町においては、試行段階での希望者はなかったが、支援の一つの場として引き続き活用してはどうかと思われる児童生徒、保護者に対し周知を行っていく。

質問 保護者や周りの大人の人たちに多様化する個性の理解を深めるための勉強会や講演会など開催する考えは。

教育長 幅広い方に理解を深めていただく手段として、講演会の開催も一つの手段と考えるが、要因や状態が様々で、当事者となっている保護者の聞きたい内容も多岐にわたる。講演会を開催する体制を整えるよりも、現状では個別対応する体制を強化した方が良く考えている。

町政を問う

一般質問



開花状況や天候により来訪客は前年より2万人減の54万人となった



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



きた じま まさ お 議員
北島正男

質問 第35回河津桜まつりの評価は

答え 皆様の「ご協力」で長く続いている

質問 町民の皆様のおもてなしや取り組みと協力に関する感謝の評価は。

町長 長く続き、多くの来訪者が訪れるのも多くの町民の協力と桜を大事に育ててくれた結果。桜守人の会の活動にも大いに感謝している。多くの皆様の協力のもと、町の木 河津桜の保護育成に務める。

質問 長年の課題トイレ、駐車場、渋滞の解決度合いと実行委員会の新たな取り組みによる、総合的な評価はどうか。

町長 情報発信の多様化で来訪者が一時期に集中する傾向があり、駐車場は60台増えたが、中々解決できない。根本的な問題として、車の進入ルートと交通手段の問題など

視野に入れて考えていく。実行委員会の多くの新しい取り組みは、町民の参加性もあり、新鮮で高評価。

産業振興課長 渋滞対策として、伊豆急の協力であるパーク&トレインや夜桜ビール列車は好評、伊豆バスは三島駅や静岡空港から直行便を運行した。

質問 河津町ふるさと納税の現状は

答え 順調に推移している

質問 ふるさと納税の返礼品は、町の特産など物理的な要因もあり、納税額を飛躍的に伸ばすのは難しいと思われるが、その成果と返礼品のラインナップ充実度の現状はどうか。

町長 ふるさと納税の額は順調に推移し、昨年より多いと予測している。
企画調整課長 2月末で

の寄付額は、前年度より2,000万円増え、1億4,918万円で推移。返礼品は、360品目から424品目に増えている。

質問 他の市町に流出している町民のふるさと納税額は把握しているか。
町民生活課長 他へのふるさと納税は2,052万円。令和6年度の河津

町個人町民税から寄附金控除された額は、809万円。
質問 返礼品で河津桜の植樹権を、新規で考えているがどう思うか。

町長 アイデアとして大変良い。公用地の確保が先決で新たな防災公園などは良いと思うが、長期的な管理が重要。

町政を問う

一般質問



既存の体育館に後付けしたエアコン



えん どう よし のり 議員
遠藤嘉規

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問 小中学校体育館のエアコン設置は

答え 時期は未定だが、取り組みたい

質問 国が進めている広域避難所（体育館）エアコン設置に向けた認識は。

町長 体育館エアコンの必要性は、広域避難所になつて点も踏まえ必要性を感じている。国が積極的に補助事業として

考えているので、今後活用したい。ただ、近い将来に小学校の移転、中学

校体育館の改築が予想され、二重投資にならないよう慎重にならざるを得ない。移転改築の時は是非とも設置を検討したい。

質問 国県の助成制度などの補助財源は。

教育委員会事務局長 空

調設備整備臨時特例交付金という名称で、子供達の学習生活の場で、災害

時には避難所として活用される学校施設の避難所機能を強化が目的で、対象工事費の2分の1、上限額は7千万円となっている。

質問 近隣市町の対応は。

教育委員会事務局長 現状ではスポットクーラーの対応が多く、エアコンの設置予定は無い。

質問 災害時の孤立予想集落への対応は

答え 地区と町の通信手段の確保が重要

質問 南海トラフ地震発生時に指摘されている、孤立予想集落への対応や、検討した事は。

町長 孤立集落への道路確保対策として、県道事業の推進や伊豆縦貫自動車道建設地の工事用道路の活用による新たな避難路の整備や、ヘリポートの確保など進めなければ

ならないと、考えている。

質問 備蓄食料の現状は。

防災課長 現時点で、各地区に配布してある非常食は約3日分確保している。今後も継続的に配布していく予定。飲料水は、濾水機を配備しているが、備蓄水の配布も検討している。各家庭においても、最低3日分、出

来れば7日分の備蓄をお願いしたい。

質問 連絡手段の充実は。

町長 集落の情報をいかに掴むかが大事、情報伝達について確実に連絡取れる方法等、特に衛星電話や無線の受信状況の確認や検討を進めている。

防災課長 新しい同報無線は相互通信機能がある。

町政を問う

一般質問



廃校となり2年が経過した旧西小学校



わた なべ まさ あき 議員
渡 邊 昌 昭

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問 増加する空き家の対策は

答え 空き家調査し、空き家バンクを活用

質問 空き家が年々増加している。総務省の住宅

登録など所有者に促して
いきたい。

の登録指導や契約に関し
てトラブルはないか。

土地統計調査によれば静岡
岡県の空き家は16・7%
とされている。空き家減
少対策は。

質問 相続が未了により
登記がなされず、固定資
産税の未納はないか。

企画調整課長 固定資産
税の納税通知書に空き家
バンクの案内を同封させ
ていただき、制度の周知
を図っている。利用希望
者と登録者との空き家に
関する交渉等には直接関
与しないものとしており
大きなトラブルはない。

町長 空き家について全
町的に調査を行うべく令
和7年度に予算を計上
し、調査を行った上で活
用について空き家バンク

町民生活課長 登記が完
了するまでは相続人代表
者に納めてもらっており、
未納になることはない。

質問 空き家バンクの登
録状況と空き家バンクへ

質問 旧東小、旧西小の管理と活用は

答え 公募要綱をまとめ公募を開始したい

質問 廃校となった旧東
小と旧西小の備品の処分
と応募状況や使用状況、
施設管理の実施状況は。

には外見を見て、報告し、
校舎内外、電気水道設備
の点検は3か月に1度総
務課の職員がおこなって
いる。

か。また応募がなければ
解体の考えはあるのか。

総務課長 旧西小の廃校
プロジェクトは2件の問
い合わせがあった。旧東
小は公共施設整備計画推
進委員会の答申に沿った
形で公募要綱を作成中。

教育委員会事務局長 備
品はメルカリで販売し、
利益は45万4500円に
なった。

町長 旧東小は現状の活
用計画では道路の拡張の
必要はない。旧西小につ
いては法に従う必要があ
る。校舎の解体について
は、できるだけ活用の方
向で考えたいが、方針通
り解体の費用を含め、検
討しなければならない。

維持管理は職員が行く時

質問 2校の跡地は進入
路が狭いが拡幅できない

町政を問う

一般質問



役場敷地内の資源ごみリサイクルステーション



おおかわよしき 議員
大川良樹 議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問 河津駅周辺に屋外分煙施設設置は

答え 設置がふさわしくない

質問 持続可能な観光地のおもてなしとして、また望まない受動喫煙対策としても河津駅前広場周辺に屋外分煙施設の検討は。

町長 この問題は観光地としてと言うよりも、人間としての健康維持の問題や社会的認識にもあると思う。その場所が適し

ていない、設置がふさわしくない。

建設課長 今年度の河津駅前広場管理運営委員会において、河津駅前広場禁煙の承認をいただき、バス停付近に禁煙表示を行っている。

質問 運営委員会の会議で禁煙が決まったということが今後、たばこを販

売する伊豆下田たばこ協同組合さんや、JTさん、たばこを製造販売している民間企業が、河津駅前広場周辺に屋外分煙施設の設置を要望しても、それはもう受け付けないということでしょうか。

町長 基本的に運営委員会で決定した事項なので尊重したい。

質問 リサイクルステーションでカン

答え 今後検討したい

質問 今後予想される人口減少によるごみの減少への対応は。

町長 今後の人口減少やごみ減量化による長寿命化経費節減、また環境を守る観点からも並行して進めるべき。

質問 エコクリンセンター東河の延命化対策と建物を含む利用がいつまでできるのか。

町民生活課長 建物は耐用年数から50年、令和34年まで利用できる、延命化対策としては15年ごとの施設の改良工事を想定している。

質問 エコクリンセンター東河の資源化の取り組みとその推移は。

町民生活課長 令和6年度からリサイクル品目を4品目追加し、令和5年

度決算収入が28万8073円だったが令和7年度の予算収入では約1100万円見込んでいます。

質問 資源ごみリサイクルステーションでカンの回収を考えないか。

町長 管理や手間がかかるので、適当かどうかそれも含め今後検討したい。

町政を問う

一般質問



令和13年まで継続が決まっている踊り子温泉会館



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



まさ き せい じ 議員
正木 誠 司

質問 高校の再編状況は

答え サテライト制に向け進んでいる

質問 賀茂地域において
は下田高校を本校に稲
取・南伊豆・松崎各校を
サテライト校とするキャ
ンパス制への移行が示さ
れた。その後の進展は。

的にはリモート授業取り
入れが示されている。

質問 静岡県では2年連
続で15人以下の入学者と
なった場合、募集停止し
廃校となっているがサテ
ライト校単独でも適用さ
れるのか。

ライト校指定等、町とし
て廃校にならない提案等
を行っているか。

町長 令和6年度にグラ
ンドデザインの具現化に
ついて関係各所と協議を
行った上で令和7年度に
公表を目指す予定。具体

教育長 サテライト校単
独でも適用される。

町長 先ずは子どもたち
に学校を選んでもらえる
事が重要。今回のサテラ
イト制で配信センターか
ら質の高い授業や専門性
のある授業の配信が出来
ると聞いているので期待
している。

質問 踊り子温泉会館の今後は

答え 令和13年3月まで継続

質問 以前の一般質問に
おいて、踊り子温泉会館
の土地の一部は令和7年
3月までの契約と聞いて
いる。その後、契約の延
長等はされたのか。

については温泉給湯事業
第3次計画の中で検討を
行っていく。

質問 温泉会館の運営を
より良いものにするため
に、町民や利用者の意見
を聞く制度を設けては。

にしたい。
産業振興課長 要望があ
れば検討・対応する。

副町長 町の温泉給湯事
業第2次計画の期限に合
わせ、令和13年3月まで
の延長で地権者の方に同
意を頂いている。その後

町長 現在は役場内部で
検討している段階。今後
検討組織等を立ち上げて
町民や議会の意見を参考

産業振興課長 要望があ
れば対応する。（*2日
後に増台された。）

の延長で地権者の方に同
意を頂いている。その後

町民や議会の意見を参考

*その他、ふるさと納税
寄付額について1件質問

第1常任委員会

福祉介護課と

所管事務勉強会

12月9日に福祉介護課長、介護係長、福祉係長と共に、福祉介護課の管轄する町の各種法人の状況、課題、また今後の取り組みについて意見交換を行った。

共助型ライドシェア

実証実験決定

1月28日に第1常任委員会と河津町商工会観光サービス業部会では、17時以降タクシー運行がない現状から、昨年10月よりその改善と夜の地域産業の活性化、夜の移動を補完するべく交通手段の実証実験に向け、意見交換を重ねてきた。

少子化による 法人の現状、課題

1月20日に議員控室にて、社会福祉法人円明福祉会わかば保育園の織田園長、後藤理事長に来庁いただき、少子化による幼児保育の現状と課題、また法人として今後の方向性について意見交換を行った。

まずは河津町最大のイベント「第35回河津桜まつり」期間中に実証実験を行うことを決定した。繁忙期に行うことにより利用者等の生の声を意見集約できることも理由のひとつとなった。



商工会との勉強会

名称

「河津ザクラライド」に

決定、町長報告

2月17日、第1常任委員会と河津町商工会観光サービス業部会では、2月19日～2月25日の間、共助型ライドシェアの実証実験を行うことを報告した。



第2常任委員会

伊豆縦貫自動車道の

要望活動について

能登半島地震の惨状を受け、地域防災力向上には、伊豆縦貫道の早期全線開通が必須条件と考え、検討の結果、前例に囚われず議会として出来る事を行う事とした。

・伊豆縦貫自動車道の要望活動について

12月26日

・東京都台東区立忍岡中学校で開催された広域避難所エアコン設置事業の現地視察へ委員長が参加

1月30日

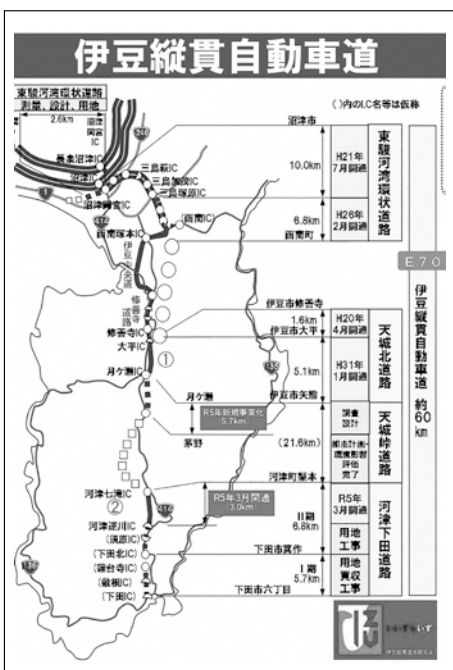
・4月月例会の内容選定
・伊豆縦貫自動車道要望活動のスケジュールについて

活動報告

12月18日

・防災士会との今後の連携について

・月例会について



出典：静岡県 HP より

議会改革特別委員会

町政のチェック機能をしっかり果たすため、より良い議会運営を議員10人全員で協議し、改善すべき課題を抽出し解決を図っていく。

議会改革

議会改革特別委員会は令和6年12月の第4回定例会以降、12月20日、令和7年1月15日、3月13日に特別委員会を開催。

町民による議会モニター制度の制定に向けた取り組み

協議内容

- ・実行案を再度検討（公募の方法、進行役の技術、謝礼や交通費の予算化）
- ・検討材料が多くスピード感がない

- ・町民の皆様の声を聞く別手法検討すべき

- ・現状の常任委員会での意見交換会の充実で対応は

協議結果

- ・モニター制度の制定を見据えた、常任委員会での意見交換会の充実を図る

反映した取り組み

第一常任委員会

- ・商工会との勉強会

- ・福祉介護課所管事務調査

第二常任委員会

- ・防災士会との意見交換会

広報常任委員会

- ・軽トラ市への参加検討

「出張 河津町議会」

議会DX

協議内容

- ・デジタル通信機器の持ち込み
- ・ペーパーレス化推進

- ・議場通信環境の整備

協議結果

- ・デジタル通信機器の持ち込みに向け、会議規則等の見直し検討

- ・議会内文章のペーパーレス化の検討

- ・議場通信環境の整備を行政側と協議し、令和8年度整備に向け継続協議

反映した取り組み

- ・デジタル通信機器の持ち込みに向け、申し送り事項として文書化

- ・LINE WORKS を利用し、議会通知文章のペーパーレス実施

議会のひろき



渡邊 弘 議長

視察研修報告

1月8、9日

マニユフェスト研究所の議会改革度調査で全国村の部1位となった長野県宮田村議会で、むらびと会議、ペーパーレス化等について視察研修を行い、見聞を広めることができた。

全国的に有名な高遠城址公園を持つ伊那市において、市内に多く分布する桜の名勝を総括し今後の桜育成管理についての計画を図っている。同じ桜の名勝地として共通する問題点があると認識した。



Instagram QRコード



Facebook QRコード

一部事務組合

伊豆斎場組合議会

定例会（2月18日）

・令和7年度予算

4600万円

加入団体負担金

3546万7千円

うち河津町

600万6千円

・令和6年4月～令和7

年1月までの火葬件数

884件

うち河津町

126件

下田地区消防組合議会

定例会（2月17日）

・消防事業報告

8月1日～1月31日

建物火災

その他火災

救急出動

2073件

うち河津町255人

・令和7年度予算

15億2958万8千円

うち河津町

2億3121万1千円

下田地区消防組合議会議
員研修会（2月18日）

・駿東伊豆消防組合との
広域化は中断

・妊婦サポート119

事前登録を基に救急車
でかかりつけ産科医療機
関へ迅速に搬送する制度



下田メディカルセンター議会

・全員協議会（2月17日）

旧共立湊病院解体工事は
令和5年から約14ヶ月か
け完了した。解体費用は、
契約額より1398万円
の減額となり総経費3億
3251万円となった。

・定例会（2月17日）

診療の現状（令和6年
4月から12月）は入院2
万1164人、（対前年

1580人増）、外来4
万6011人（対前年4
26人増）で増加傾向に
あるがコロナ禍以前の水
準に戻らず、人件費や物
価上昇の影響もあり、経
営は厳しい状況が続く。
尚、河津町民の利用は、
入院で2・6%、外来で
3・4%7年度予算は病
院事業収益と資本的収入
を合わせ6億6939万
9千円とし、介護老人保
健施設事業の予算は収支
共に、5505万2千円
とした。



更地化完了した旧共立湊病院跡地

東河環境センター議会

2月19日、東河環境セ
ンター議会第1回定例会
が開催された。

主な議案、令和7年度
東河環境センター会計予
算について

6億2670万円とした。
令和7年度予算分担金
し尿処理

河津町3768万8千円

ごみ処理施設

河津町

1億7152万1千円

東河環境センター

議員視察研修

1月17日、東河環境セ
ンター議会議員と管理者
である東伊豆町長、河津
町長、両町の担当者が参
加し、三島市、富士市へ
議員視察研修を行った。

三島市では、ごみの減
量化の取り組みとして、

メルカリショップを活用
した粗大ごみのリユース
や、フードロス削減のた
めお店と市民を繋ぐマッ
チングアプリの活用を研
修した。

富士市では、令和2年
に完成した「富士市新環
境クリーンセンター」を
視察し、低炭素で循環型
の最新鋭塵芥処理施設を
研修した。

最後に今年度から東河
環境センターが新たに契
約した富士市の資源ごみ
回収・販売業者を視察し
た。なお、この業者変更
によりごみ売払収入が前
年度と比べ1000万円
増額の見込みとなった。



富士市新環境クリーンセンターピット

議会だより第105号

読者アンケート

締め切り
5月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

- 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。）

複数回答可

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> P. 2～P. 3 予算審議特別委員会 | <input type="checkbox"/> P. 12 常任委員会 |
| <input type="checkbox"/> P. 4 定例会・臨時会 | <input type="checkbox"/> P. 13 議会改革特別委員会・議会のうごき |
| <input type="checkbox"/> P. 5 河津ザクライド実証実験 | <input type="checkbox"/> P. 14 一部事務組合 |
| <input type="checkbox"/> P. 6～P. 11 一般質問 | <input type="checkbox"/> P. 16 私の一言・編集後記 |

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、議会だよりで紹介及び議員内で共有させていただく場合があります。また取材や原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会から改めて連絡いたします。回答いただいた個人情報は、ご本人の許可なく外部に提供することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405

E-mail: gikai@town.kawazu.lg.jp

～私の一言～



河津町二十歳の集い代表
小野 里桜

「私の思う河津町の将来像について」

私の思う河津町の理想の将来像は、子供の育てやすい環境であり、観光業で活気溢れる町である姿です。現在の河津町では少子高齢化が進み、小学校は統合され、子供の数が減少している状況にあります。また、コロナの影響からか観光客の数も減少し、河津町の自慢である桜まつりも規模が縮小しつつあるように思います。私たちが小学生の頃に比べて、桜まつりにくる観光客の数や屋台の数はかなり減ってしまっています。

この現状から想像する河津町の将来は少し寂しいものであり、そうなって欲しくない姿です。そのため、子育て環境を充実させることで、子供や若者を河津町に呼び込み、桜まつりを始めとする観光業にもう一度力を入れ、河津町の活気を取り戻すための活動を行っていくべきだと私は考えます。



河津町二十歳の集い代表
土屋 智嘉良

「私の思う河津町の将来像について」

河津町について尋ねられた際、最初に思い浮かぶのは「美しい桜の町」ということです。春になると、多くの出店が立ち並び、町全体が桜に包まれる光景は、河津町に住む人々にとっての楽しみでもあります。しかし、現在は河川法の改正により、河川区域での植樹が制限されており、美しい景観をどのように維持していくかが課題となっています。

これまでは桜といえば河川敷のイメージが強かったですが、そのイメージを町全体で形成することが重要だと考えます。桜を守る活動に加え、「桜の里親制度」を導入し、町民が自宅で桜を育てることを奨励することで、地域全体で桜の美しさを楽しむのではないのでしょうか。また、公園や学校、道路沿いに桜を植えることも、町の魅力を高める一助となると考えます。



編集後記

人口減少と少子高齢化が進む中、町民の皆さんが住みやすく子育てしやすい町となれるかを念頭に、議会では令和7年度の予算について慎重に吟味し、議会からの意見を付し可決いたしました。

4月は新たな年度の始まる月でもあります。入学・就職・転職等で生活が一変する人、昨年と同じ環境で頑張る人。それぞれの環境で違いはありますが、何か目標を立てて前向きな気持ちで令和7年度、みんなで頑張っていきましょう。
(正木)

広報常任委員会

委員長 渡邊昌昭

副委員長 正木誠司

委員 北島正男

〃 大川良樹

〃 桑原 猛

次回定例会は6月開催予定です。